

令和4年度 公開研究発表会（ライブ配信）

日頃の研究成果を東京都環境科学研究所の研究員が、オンラインによるライブ配信で発表します。**どなたでも予約不要・無料**でご覧いただけます。

■日 時：令和5年1月26日（木曜日）
午後1時30分から午後4時頃までを予定

■参加方法：当研究所ホームページにてご確認ください。

東京都環境科学研究所ホームページ

<https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>



■プログラム

時間	発表タイトル	研究員
13:30 ～13:35	開会挨拶	東京都環境科学研究所 所長 今村 隆史
13:40 ～14:15	研究発表 東京都における地下水流動調査	環境資源研究科 朝倉 広子
14:15 ～14:50	研究発表 使用過程車からの自動車排出ガスの実態把握 に向けた研究～大型車の調査例の紹介～	環境資源研究科 佐藤 友規
14:50 ～15:25	研究発表 東京都におけるPM2.5の現状と無機元素成分の 分析	環境リスク研究科 科長 八木 義樹
15:25 ～16:00	研究発表 中小規模事業所が、省エネに取り組む動機は何か？ 省エネに取り組む際の障壁は何か？	次世代エネルギー研究科 主任研究員 片野 博明

※ 時間は目安であり、多少前後する可能性があります。

※ 発表の動画を令和5年2月1日（水）から2月28日（火）までホームページに掲載します。

裏面に各発表内容の詳細を掲載！



東京都における地下水流動調査

環境資源研究科 研究員 朝倉 広子

研究発表

13 : 40
～
14 : 15

東京では、かつて過剰な地下水利用により地下水位が低下し、甚大な地盤沈下を起こしました。現在では地下水位は回復傾向にあり、地盤沈下も沈静化していますが、適正な地下水の保全と利用が求められています。このことから、東京都では地下水の実態を把握するため、地下水流動調査を行っています。本報では、様々なトレーサー（地下水流動を把握するための化学物質）を用いて地下水の流れを調査した結果について報告します。

使用過程車からの自動車排出ガスの実態把握に向けた研究

～大型車の調査例の紹介～

環境資源研究科 研究員 佐藤 友規

研究発表

14 : 15
～
14 : 50

自動車から排出される大気汚染物質の排出実態を把握するため、当研究所では長年にわたって排出ガスの調査を実施しています。本発表では、使用過程車による研究所内での台上試験のほか、貨物車で都内一般道路を実際に走行した際の路上走行試験の調査結果を紹介します。

東京都におけるPM2.5の現状と無機元素成分の分析

環境リスク研究科 科長 八木 義樹

研究発表

14 : 50
～
15 : 25

PM2.5は、大気中に浮遊している粒子状物質のうち、粒径2.5μm以下の微小粒子のことで、非常に小さいために呼吸器系の奥深くまで入りやすいことなどから、人の健康に影響を及ぼすことが懸念されています。今回は、都内のPM2.5測定結果の現状と無機元素成分に着目した分析結果について紹介します。

中小規模事業所が、省エネに取り組む動機は何か？

省エネに取り組む際の障壁は何か？

次世代エネルギー研究科 主任研究員 片野 博明

研究発表

15 : 25
～
16 : 00

2050年CO2排出実質ゼロに向け、大幅な省エネが必要です。今後、更なる省エネを推進するためには、企業等が省エネに取り組む動機や、省エネに取り組む際の障壁を把握し、行政等が適切な支援をしていくことが求められます。そこで、本報告では、都内の中小規模事業所が省エネに取り組む動機や、省エネに取り組む際の障壁を明らかにすることを目的として令和3年度に実施した、アンケート・ヒアリング調査の結果をまとめ、昨年度の公開研究発表の第2報として、報告します。

※ 今回の発表以外の分野についても、調査研究を紹介したポスターを同時にホームページに掲載します。

アンケート調査へのご協力をお願い

公開研究発表会のライブ配信終了後、ウェブ上にアンケート入力画面が表示されます。
今後のより良い発表会の開催のため、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

